

# 視察報告書

委員会名	市民福祉常任委員会
視察日時	平成30年11月9日(金)9時30分～11時00分
視察先	東京都羽村市
視察項目	ファミリーサポートセンター事業について
視察参加議員	笹栗純夫、三嶋栄幸、田原耕一、後藤宏爾、加茂正彦、長田秀樹

## 視察概要

羽村市の概要 面積：9.90k m<sup>2</sup> 人口：55,710人 世帯数：25,565世帯

羽村市は「ひとが輝きみんなでつくる安心と活力のまち はむら」を掲げ、全国2位となっている。平成9年のファミリーサポートセンター(以下「センター」と呼ぶ)設置から、20年の事業運営実績を持つ羽村市の取り組みについて視察する。

## 視察内容について

### 事業の概要

育児の援助ができる方(協力会員)と育児の援助が必要な方(利用会員)とで構成する会員組織を運営し、保育施設等の送迎や児童の一時預かりなどにより、地域における子育てを支援する為に、センターを社会福祉法人羽村市社会福祉協議会に置き、事業の愛称を「ほほえみサポート」としている。

### <対象・援助内容>

対象：協力会員は18歳以上の心身共に健康な方で、利用会員は育児の援助を必要とする生後6か月以上小学校6年生までの児童を対象としている。

援助内容：保育園、学童クラブまたは小学校への送迎及び前後の預かり育児、冠婚葬祭、他の子どもの学校行事、買い物等の外出時の対象児童預かり。

### <利用方法・利用料>

援助を必要とするときに羽村市総務課地域福祉係に申し込む。また、業務時間外に急にサポートが必要となったときは社会福祉協議会に申し込む。

平日及び土曜日	午前9時から午後5時	700円/1時間(時間外は850円/1時間)
日曜日、祝日	終日	850円/1時間

複数の児童を預かる場合は、兄弟に限り2人目からは料金は半額。

- ・1時間を超えたときには30分単位で料金を計算する。30分未満の端数は切り上げ。
- ・協力会員が送迎等で公共交通機関などを利用した場合は利用料とは別の負担。
- ・無断の取り消しは全額、当日の取り消しは半額のキャンセル料の負担。

### <サブリーダーの設置>

センターの管理・運営を行う「センターアドバイザー」とは別に、市を4地区に分け、協力会員の中からグループ会員の相互援助活動を調整する為の人員を4名配置し、アドバイザーの補佐、センターの業務時間外の会員の紹介、各地区の相談員としての役割を持たせている。

## 事業の実績

年度	利用会員	協力会員	両方会員	利用回数	活動時間
平成 28 年度末	191 人	80 人	11 人	385 回	528.5 時間
平成 29 年度末	192 人	79 人	10 人	273 回	351.0 時間
平成 30 年度 (9 月末)	174 人	70 人	10 人	138 回	215.5 時間

### < 研修 (講習) 会の実施状況 >

#### ・平成 29 年度

- 第 1 回 発達が気になる子ども達および保護者の理解と具体的支援法
- 第 2 回 子供の栄養管理とおやつ作り
- 第 3 回 子どもの事故防止(ヒヤリハット)
- 第 4 回 活動時の応援救護
- 第 5 回 羽村市での発達支援への取組
- 第 6 回 子どもの遊びと保育

#### ・平成 30 年度

- 第 1 回 発達障害についての学びと連携
  - 第 2 回 子育ての今と昔～今と昔違う子育て方法～、第 3 回 活動時の応援救護
- 今後予定している研修：「野菜で美味しいクリスマスのおやつ」、「子どもの成長と保護者の関わり方」、「楽しい絵本の世界手遊び」

### < 平成 28 年度サポート内容実績 >

学童保育の送り	86 件	学童保育迎え後、習い事への送り	28 件
習い事への送り	46 件	保護者等外出の場合の援助	28 件
習い事への迎え	40 件		

### 羽村市の取組の特徴

社会福祉協議会に事務局を置き、臨時職員を採用しアドバイザーとして仕事をこなす。また、サブリーダーを置くことにより、きめの細かいサービスを提供している。

協力会員研修においても、市の主催する講演会と共催することで、年 6 回 (うち 3 回がセンター主催) の開催を可能にしたうえで、会員のスキルアップにつなげるとともに、一般市民対しても呼びかけし、子育てについての意識向上につなげている。

また、保育所等への送迎の場合は、先生、保育士さんなどとも顔合わせすることでトラブルを未然に防ぐ。送迎については、徒歩が原則で自家用車は使わない。また、場合によっては公共交通機関を使うこととしている。

### 取組の課題と問題点

近年、保育園、児童クラブ等の延長保育の充実により利用者が減っている。また、協力会員の受入れ可能時間帯と、利用会員のお願い希望時間帯がうまく合わないとの事。

### 本市にとって活用すべき事項・課題

地域的な環境の違いはあるが、人と人の信頼関係を基にして、羽村市の取り組み事例を参考に、今後本市でも起こりうる課題を早期に想定し、運営に活かしていただきたい。

また、本市においても、社協との共催などを検討することで、研修会や講演会を増やしていくことができるのではないかと。